

茅ヶ崎セントラルクリニック

三田 泉紀(看護助手/看護部)

- 功 績 業務を可視化し、適正な人員を配置する事で人件費削減に努めた功績
- 推 薦 者 細川 康子(看護部長/看護部)
- 推 薦 理 由 通常業務をこなしながら、組織運営に貢献すべく職場環境を改善した取組に対して、理事長賞に推薦します。

内 容

今まで看護助手部門は業務の大半が可視化されておらず、また人数ありきでシフトが作られていました。同じ曜日に関わらず日によって人員が違っていたり、業務の不均等、偏在化が問題となっていました。その現状を打破すべく、三田が中心となり、助手部門の適正人員の配置Pjがスタートしました。

今までの慣習を取っ払う事への抵抗があるかと思いましたが、皆を上手くまとめ上げ「人件費の管理を徹底し、一人当たりの時間単価の削減」という一年後の姿に基づき粘り強くPjに取り組めました。

業務内容の見直しに始まり、時間割、必要人員数等月を月をおって可視化することで、結果、7月から新勤務体制のスタートの時には、職員1名減、時間外前月対比▲79.5時間の結果ができました。

また可視化による効率化に伴い、全体の仕事の進捗が把握された分、環境整備に全員で取り組めるようになり様々な改善にもつながっています。

結果、下記数値のように人員が減ったにもかかわらず、一人当たりの時間外の削減にもつながりました。与えられ、限られた条件の中で最大の効果を生み出し、医療職のサポート部門として協力はもとより、経営に看護助手としてどう貢献していくかとブレずに取り組んだ事は他の職員に良い影響を与え、アメーバ経営を導入するにあたり他部門の模範になっているとも思います。